

J F E シビル

新潟システム建築協力が総会 栗山社長「会員拡大目指す」

挨拶する栗山会長



J F E シビル(社長・藤井善英氏)は10日、三条市下田の嵐浜荘でJ F E 新潟システム建築協定会総会(会員11社)を開催した。

新潟地区協力会会長

の栗山正男栗山庄之助商店社長は「熊本地震で被災された方々にお見舞い申し上げたい。当地も中越地震・中越沖地震と経験したが、地震の頻度と強さからいって熊本の方々は大変な苦勞をされていると思う」

「来年度の全国大会が新潟地区で執り行われることが正式に決定

した。多くの方々にご出席いただきたい。全国大会を盛り上げるためにも会員拡大を目指し、J F E シビルさんの受注活動に貢献したい」と語った。

来賓の新田三男J F E スチール新潟支社長はシステム建築の需要につながる新分野を提案。高齢者の地方移住を促進する日本版C C R C 構想(健康なうちから社会活動に参加し、医療やケアも受けられる共同体)やN I G T A S K Y P R O J E C T など航空産業集積を目指す共同工場へシステム建築活用の可能性に言及した。

役員改選では全員の留任が承認され、J F E シビルを代表し、平田浩司システム建築事業部副事業部長がいちいち基礎工法による新規受注案件の紹介、新商品の開発動向を説明した。